

### 最新情報

#### 1) **Version6.3r3 Updater が WEB に Upload されました**

Meta ソフトウェアの最新アップデートファイルが WEB にアップされました。  
今回の主な修正・変更点は次のとおりです。

- **Andor カメラドライバ改善**

Acquire ダイアログボックスの Special タブ内で、Vertical Shift や PreAmp Gain ならびに、Over lapped と Non Overlapped モードの切り替えが可能となりました

- **SensicamQE カメラドライバ改善**

Stream データ取得中に Preview 画像表示が可能となりました

- **EMCCD タイプカメラ**

EMCCD の EM ゲイン表示が Intensifier Gain と記載されていたのでこれを EM Gain に変更しました

- **CCD カメラドライバ全般**

フレームアベレージ機能を有効にしました

- **新しいデバイスのサポート**

TILL Polychrome V、Physik E-710(XY + Z 三軸)制御など  
その他、細かなバグを修復しました。

#### 2) **浜松ホトニクス製 ORCA-3CCD 制御に関して**

以前のセールスノートにて ORCA-3CCD の制御時に不具合があるとお話をしていますが、MD より浜松の DCAM ドライバ自身に問題があり、現状はソフトウェアトリガ機能を無効にすることで Timeout Error を回避できると連絡があり、実際にテストをしました。

結果は Timeout Error は発生せずタイムラプスデータ取得が行えることを確認しました。

これに加えて“アシュラ”モデルも同様に制御が可能で、MetaFluor では波長ごとに RGB のチャンネル分離が可能ですので、リファレンスチャンネルのデータ取得が可能です。

なお制御には 64 ビットバスボードが必要で、このボードは MetaPrecision470 に実装可能ですが、MetaPrecision380 では実装不可能です。詳細は当社担当営業までお問い合わせください。

以上